

令和4年度 東京都立総合芸術高等学校

音楽科実技検査実施要項（推薦・学力一次）

本校音楽科では、音楽分野における高度な専門性を備え、豊かな教養や広い視野をもち、芸術活動を通じて社会に貢献できる生徒の育成を目指しています。

以下の通り、音楽の専門内容について実技検査を実施します。

I 専攻となる実技の選択

本校音楽科には、次の4つの専攻があります。出願時に、実技検査を希望する専攻を1つ選択してください。

| | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|----|
| 器楽 | ・ | 声乐 | ・ | 作曲 | ・ | 楽理 |
|----|---|----|---|----|---|----|

* 器楽については、下記より楽器を1つ選択してください。

鍵盤楽器：ピアノ

管楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ

弦楽器：ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

打楽器：小太鼓、マリンバ

II 実技検査内容（推薦に基づく選抜、学力検査に基づく選抜とも共通）

◎ 課題曲等の詳細については、別紙「課題曲集」を必ずご確認ください。

1 旋律および和声の書き取り（全専攻共通）

旋律課題：長調および短調、各1題

和声課題：四声体で長調、短調のいずれか1題

2 新曲視唱（全専攻共通）

長調、短調のいずれか1題

* 唱法は、固定ド唱法、または移動ド唱法のいずれかを用いてください。

3 副科ピアノ演奏（ピアノ専攻を除くすべての専攻）

課題は、専攻により異なります。別紙「課題曲集」をご確認ください。

4 専攻実技

(1) ピアノ専攻 ①課題曲 および ②任意の1曲

(2) 弦楽器専攻 ①課題曲 および ②任意の1曲

* ヴィオラ専攻は、ヴィオラ、またはヴァイオリンで受検することができます。ただし、ヴァイオリンを選択した場合は、ヴァイオリンの課題曲で受検してください。

(3) 管楽器専攻 ①課題曲 および ②任意の1曲

* サクソフォーン専攻は、アルトサクソフォーンで受検してください。

- (4) 打楽器専攻 ①課題曲 および ②任意の1曲
* 小太鼓またはマリンバのどちらかを選択して受検してください。
- (5) 声楽専攻 ①課題曲（コールユーブンゲン・コンコーネ）および
②任意の一曲（イタリア歌曲集）
* 声楽専攻に限り伴奏を付けます。伴奏者は本校で用意します。
- (6) 作曲専攻 和声課題
バス課題及びソプラノ課題を各1題
- (7) 楽理専攻 楽理（音楽学）に関する小論文および英作文を含む学力検査

Ⅲ 出願時に郵送する専攻実技に関するもの

1 郵送するもの

(1) 専攻実技曲目票

- * 受検者全員が提出してください。
- * 用紙は、課題曲集と同時に配布します。記入例を参考にして、課題曲および任意の曲の曲名、作曲者名、演奏時間等を記入してください。
不備がございましたら、ご連絡を差し上げますので、中学校、本人、保護者の連絡先をすべてご記入ください。

(2) 楽譜のコピー

- * 実技検査で演奏される楽譜についての一覧については、「専攻実技曲目票記入上の注意」を参照してください。
コピーの楽譜については、市販されている楽譜を郵送してください。

任意の曲の楽譜（「専攻実技曲目票記入上の注意」参照）

Ⅳ 注意事項

- 1 専攻実技の課題曲等の内容について、電話等での問い合わせには一切お答えできません。
- 2 ピアノとマリンバは本校で用意します。それ以外の楽器は持参してください。コントラバス、小太鼓は本校でも用意しますが、受検生の所有楽器を持参することもできます。持参する場合は、出願時にお申し出ください。
- 3 演奏にあたっては、当日に楽譜が提示されるものを除き、課題曲、任意の曲ともに暗譜とします。
- 4 検査日当日に持参するものは、以下の通りです。

| |
|------------------------|
| 受検票、筆記用具、楽器（必要な場合）、昼食* |
|------------------------|

- * 検査は2日間にわたりますが、昼食が必要になるのは、次の専攻の受検生です。

推薦に基づく選抜 検査1日目 管楽器、弦楽器、打楽器、声楽専攻

検査2日目 ピアノ、作曲、楽理専攻

学力検査に基づく選抜 検査1日目 全員

- 5 当日はマスクを着用してください。